

図書館だより

2008 6月

今月の行事

おはなしの会	毎週土曜日午前 11 時～	えほんコーナーにて
良寛の歌と生涯	10 日(火)	午前 9 時 30 分～11 時 30 分
わらべうた遊びと絵本講座	5 日(木)・12 日(木)	午前 10 時 30 分～11 時 30 分
カルタで訪ねる郷土の歴史講座	20 日(金)	午前 9 時～約 3 時間
絵手紙講座	24 日(火)	午後 2 時～4 時

各講座の場所は図書館 2 階講習室です。



蔵書整理による休館のお知らせ

期間 6月26日(木)～7月3日(木)

6/26(木)～7/3(木)まで蔵書整理のため休館させていただきます。

なお、期間中の返却は図書館玄関脇の「返却ポスト」「返却口」をご利用ください。

* C D ・ D V D ・ ビデオは「返却ポスト」「返却口」からの返却はお断りしておりますので、ご注意ください。

* 期間中はお電話による延長を受け付けることはできません。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますがご協力おねがいいたします。



もうすぐオリンピック!! 中国の本



いよいよオリンピックが近づいてきました。また、オリンピック以外にも話題に事欠かないお隣の国・中国。そんな中国について書かれた本を最近入ったものの中から何冊かご紹介します。

『中国 危うい超大国』スザン・L・シャーク著
急激な経済発展によってアジアの大国の地位を取り戻したかに見える中国。今後の世界平和の鍵を握る、中国の心情と論理を鋭く分析する。

『中国食品動乱』小森正彦著
在中国の日系食品企業に焦点を当て、需給構造、生産地情報等を、独自調査で克明に解き明かす。

『異形の大国中国』櫻井よしこ著
13 億の人口の虚構の大国が行き着く先は。中国の真の姿を知るための著者渾身の中国論。

『てくてく北京』おののいも著
オリンピックの開催地である北京のガイドブック。天安門広場、北京動物園、万里の長城など北京のさまざまなところを紹介する楽しいイラストエッセイ。

展示コーナー

須坂版画集団のみなさんによる作品

力作が並びました。どれもすばらしい作品です。ぜひ立ち止まってご覧になってください。

ハッピー7月の苗プレゼント!

今年も6月15日(日)の父の日に、先着でヘブンリーブルーの苗を差し上げます!

* 数に限りがございます。



一般向け新刊案内 6月

小説

<p>遊女(ゆめ)のあと 〔請田玲子〕</p> <p>女は家を飛び出し、男は女敵討ちの旅に出た。将軍吉宗に対抗し、遊興が奨励され、繁栄を謳歌する尾張名古屋へ。女も男も罨が待っているとは知らずに夢に酔いしれる…。(新潮社)</p>	<p>ブルーベリー 〔重松清〕</p> <p>東京に対する憧れと怯えを抱えて上京した18歳の僕。いろんな場所でいろんな人たちと出会った。でもいつの間にか会わなくなってしまった人がいる。かつて共に過ごした全ての人に捧げる12話。(光文社)</p>	
<p>いずゞ囀る 〔山本一力〕</p> <p>土佐の荒くれ鯨漁師や江戸の大商人、そして火消し64組の人足たちがそれぞれの思いを胸に、江戸時代のツアーコンダクター“御師”に導かれて伊勢神宮を目指す。(文藝春秋)</p>	<p>ファイヤー・フライ 〔高嶋哲夫〕</p> <p>社長と間違われて突然誘拐された、企業の主任研究員・木島。監禁された廃村でいつしか犯人たちと心を通わせ、自分を取り戻していく。しかしそんな木島に横領犯の汚名が…。(文藝春秋)</p>	
《書名》	《著者名》	《出版社》
枕女優	新堂 冬樹	河出書房新社
壁抜け男の謎	有栖川 有栖	角川書店
傷物語	西尾 維新	講談社
楊令伝 5	北方 謙三	集英社

その他

《書名》	《著者名》	《ジャンル》
科学の扉をノックする	小川 洋子	科学
ねじれ 医療の光と影を越えて	志治 美世子	医療
とっつてもかんたん! 和の粘土細工+作り方	香山 桂子	工作
エコ・コモノ お菓子のパッケージをリサイクル	平田 美咲	工作
錯視芸術の巨匠たち	アル・セッケル	美術

郷土の本

酒蔵で訪ねる信州

人と文化の集積地でもあった蔵元が背負う地域の歴史や、長い間愛されてきた銘柄にまつわるエピソードなど、様々な角度から酒蔵を切り取った信州蔵元案内です。(信濃毎日新聞社)

やさしい長野県の教科書地理

長野県の地理を「自然環境」「産業と生活」「地域から見た長野県」「日本の中の長野県」の4章に分けて紹介します。信州人として知っておきたい用語や各地域の特徴も収録。(市川健夫編 しなのき書房)

貸出し中の場合は予約ができます